

横野病院長の訃報に接し哀悼の誠を捧げます

三木市民病院と小野市民病院の統合病院である「北播磨総合医療センター」の病院長を平成25年10月の開設以来務めてこられた横野浩一病院長が、かねて病氣療養中のところ、4月25日にご逝去されました。ここに謹んで哀悼の誠を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

横野病院長は、老年医学の権威で、平成9年に神戸大学医学部教授となられ、平成21年からは神戸大学副学長を務められました。「北播磨総合医療センター」は、神戸大学からの提案を受け、大学と行政とが地域医療を守るために連携して誕生した全国に例をみない先駆的な病院であります。横野病院長は、その開設準備段階から開院に向けご尽力を賜り、開院後は初代病院長として、北播磨圏域の高度急性期医療を支え、地域医療の確保に多大なる業績を残されました。

また、「北播磨総合医療センター」の運営を軌道にのせ、今日の安定した経営基盤を築かれました。開院から3年後の平成28年度以降は収支黒字を達成されたほか、研修医、専門医をはじめとした人材育成にもご尽力を賜りました。横野病院長のお人柄があったからこそ、敬慕の念を抱く医療スタッフが多く集まり、当医療センターの理念である“患者と医療人を魅きつけるマグネットホスピタル”を具現化できたのだと考えております。その多大なご功績に対し、感謝して止まないところであります。

横野病院長の突然の訃報に接し、横野病院長のこれまでの多大なご功績を偲ぶとともに、北播磨地域の医療を守るため、「北播磨総合医療センター」が、これからもこの地域の高度先進医療、地域完結型医療を担う中核病院として、神戸大学と連携して、その機能を果たしていくことを、ここに固くお誓い申し上げ、謹んで、横野病院長のご冥福をお祈り申し上げます。

令和2年5月13日

北播磨総合医療センター企業団

企業長 小野市長 蓬 萊 務

副企業長 三木市長 仲 田 一 彦